

平成30年度第1回理工学分野連携グループの合同会議議事録  
学系別FD/ICT活用研究委員会（物理学、化学、機械工学、建築学、経営工学）  
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会（電気通信工学、土木工学、生物学）

- I. 日時：平成30年10月21日（日） 10:00～12:00  
II. 会場：私学会館（アルカディア市ヶ谷）7階妙高  
III. 出席者：角田総括委員長、田辺委員長、青木委員、高野委員（機械工学）、  
関口委員長（建築学）、渡邊委員長、高野倉委員（経営工学）、  
寺田委員長、穴田委員（物理学）、小林副委員長、幅田委員、庄野委員、武岡委員（化学）、栗原  
委員、建山委員（土木工学）、須田委員、佐野委員（生物学）  
（事務局）井端事務局長、野本

IV. 議題概要

1. 昨年度の振り返りとして、意見交換の結果から下記4点が報告された。
- ① 思考力・判断力を高める学修方法としてネット上に実際的な課題をあげ、自らの問題として関連付け、グループで批判的に考え、因果関係を議論させるPBLの工夫が確認された。
  - ② 知識を組み合わせ議論させるPBL学修の仕組みは、社会や地域の課題解決に大学・学部を越えたロジカルシンキングを競わせるコンテストの必要性に賛同を得た。
  - ③ e シラバスを通じて個々の授業内容・方法を教員間で理解し相互改善に繋げる必要性とオープンな意見交換の場をネット上に設ける必要性が確認された。
  - ④ ICTによる外部評価モデルの必要性と仕組みの提案を今後の検討含め大半の賛同を得た。
2. 今年度対話集会のねらいとして4項目を確認した。
- ① アクティブ・ラーニングの質向上を目指して、問題発見・解決力の向上を図るICTを活用した課題探求型授業の研究
  - ② ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善の仕組みについて、実現の可能性を探求
  - ③ 学修成果の質保証に向けたビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題等について認識の共有
  - ④ 多面的に考え、本質を見抜く能力を目指す授業モデルを研究するため、ICTを活用した分野横断的な授業のイノベーション実現に向けた課題・戦略について意見交換
3. 話題提供の検討について、3グループに分かれ検討を行い下記の4件の案を行うことにした。
- ① 機械工学分野として、「企業連携したPBLによる共創教育」
  - ② 建築学、経営工学、土木工学、電気通信工学分野として「イノベーションアーキテクト養成プログラムの紹介とICT活用」
  - ③ 物理学、化学、生物学分野として、「専門領域の異なる学部による共創教育」
  - ④ 物理学、化学、生物学分野として、「タブレットを用いた双方向授業」
4. 意見交流のテーマとして、以下の4項目を提示し、意見交換された。
- ① 問題発見・解決力を高める課題探求型授業におけるICT活用の取り組みと課題
  - ② ネット上で学内外の意見を取り入れたオープンな教育改善実現の可能性と課題
  - ③ ビデオ試問による外部評価モデルの仕組み、実現に向けた課題・対応策
  - ④ ICTを活用した知識の創造と実践力を旨とする分野横断型フォーラム授業の必要性和導入の課題
5. 開催日・場所は、12月26日（水）を第一候補、27日（木）を第二候補として話題提供者のスケジュールを調整し、確定することにした。場所は、法政大学に依頼する予定にしている。
- V. 今後の予定  
次回は11月11日（日）に合同会議を開催し、話題提供を含めて開催要項の確定と運営シナリオ・役割分担を行うことにした。